【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公開番号】特開2015-174273(P2015-174273A)
【公開日】平成27年10月5日(2015.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-062
【出願番号】特願2014-51283(P2014-51283)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/175　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/00　Ａ
Ｂ４１Ｊ　2/01　３０１
Ｂ４１Ｊ　2/175　１１７
Ｂ４１Ｊ　2/175　１１９

【手続補正書】
【提出日】平成29年2月14日(2017.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
媒体に対し液体を噴射可能な記録ヘッドと、
前記記録ヘッドを備える装置本体と、
前記装置本体の下に設けられた少なくとも一つの中間構造体と、
前記中間構造体の下に設けられた下部構造体と、を備え、
前記下部構造体が締結部材によって前記装置本体に締結され、
前記中間構造体が、前記装置本体と前記下部構造体とによって前記装置本体、前記中間構造体、前記下部構造体、のこれらの重畳方向に拘束されるとともに、前記締結部材によって前記重畳方向と交差する方向に拘束される、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項２】
請求項１に記載の記録装置において、前記液体を収容する液体収容体を格納する、前記装置本体の外側側面に取り付けられたケースと、
前記液体収容体から前記装置本体の内部に前記液体を導くチューブと、を備え、
前記ケースの底部は、前記下部構造体の底部より高く且つ前記下部構造体の上部より低い位置にある、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項３】
請求項２に記載の記録装置において、前記下部構造体は前記ケースを支持する支持部を有する、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項４】
請求項１から請求項３のいずれか一項に記載の記録装置において、前記締結部材は、前記中間構造体を貫通する、

ことを特徴とする記録装置。
【請求項５】
請求項４に記載の記録装置において、前記締結部材は、前記装置本体と前記中間構造体との当接部である第１の当接部、および前記中間構造体と前記下部構造体との間の当接部である第２の当接部の少なくともいずれかを貫通し、或いは前記第１の当接部および前記第２の当接部の少なくともいずれかの近傍を貫通する、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項６】
請求項１から請求項５のいずれか一項に記載の記録装置において、前記締結部材はボルトであり、前記下部構造体の底部から前記装置本体に向かって挿入され、前記装置本体に設けられた雌ネジ部に嵌合する、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項７】
請求項１または請求項６に記載の記録装置において、前記中間構造体は位置決めボスを有し、前記装置本体には前記位置決めボスが通される位置決め部を有し、前記位置決めボスと前記位置決め部とが嵌合することで位置決めされる、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項８】
請求項７に記載の記録装置において、前記装置本体、前記中間構造体、前記下部構造体、のこれらが密着した状態において前記ボルトの前記雌ネジ部に対する嵌合を規制する規制手段を備える、
ことを特徴とする記録装置。